

みずほCustomer Desk Report 2016/10/20号(As of 2016/10/19)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	103.88	1.0974	113.99	0.9904	1.2305	0.7673
SYD-NY High	103.95	1.1005	114.16	0.9905	1.2334	0.7729
SYD-NY Low	103.17	1.0955	113.12	0.9875	1.2254	0.7659
NY 5:00 PM	103.46	1.0975	113.50	0.9892	1.2285	0.7724
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	10.17/10.62	25RR	1.518	Yen Call Over		
NY DOW	18,202.62	40.68	債券市場			
NASDAQ	5,246.41	2.58	日本2年債	-0.2720	▲0.2bp	
S&P	2,144.29	4.69	日本10年債	-0.0570	▲0.7bp	
日経平均	16,998.91	35.30	米国2年債	0.7946	▲0.4bp	
TOPIX	1,357.20	0.63	米国5年債	1.2262	0.2bp	
シカゴ日経先物	17,015	45.00	米国10年債	1.7432	0.5bp	
ロンドンFT	7,021.92	21.86	独10年債	0.0300	▲0.5bp	
DAX	10,645.68	14.13	英10年債	1.0820	0.2bp	
ハンセン指数	23,304.97	▲89.42	豪10年債	2.2960	▲3.6bp	
上海総合	3,084.72	0.84	為替市況	USD/CNH	6.7406	▲0.0030
USDJPY 3M Vol	10.63	▲0.20%	ドルインデックス	ドルインデックス	97.87	▲0.03
USDJPY 6M Vol	10.77	▲0.21%	商品市況	CRB指数	190.768	0.99
EURJPY 3M Vol	11.19	▲0.19%		NY金	1,269.900	7.00
EURJPY 6M Vol	11.50	▲0.27%		WTI	51.600	1.31
				Dubai Spot	48.76	0.50

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
10月19日	11:00	中 鉱工業生産/小売売上高/固定資産投資(前年比)	9月 6.1%/10.7%/8.2%	6.4%/10.7%/8.2%
	11:00	中 GDP(前年比)	第3Q 6.7%	6.7%
	17:30	英 ILO失業率(3ヶ月)	8月 4.9%	4.9%
	20:00	米 MBA住宅ローン申請指数	10/14週分 0.6%	-
	21:30	米 住宅着工件数/建設許可件数	9月 1,047K/1,225K	1,175K/1,165K
	21:45	米 ウィリアムズ・サンフランシスコ連銀総裁、講演	-	-
	22:15	英 ハモンド財務相、議会証言	-	-
	23:00	加 BOC政策金利	10月 0.50%	0.50%
10月20日	02:30	米 カプラン・ダラス連銀総裁、講演	-	-
	03:00	米 地区連銀経済報告(ページブック)	-	-

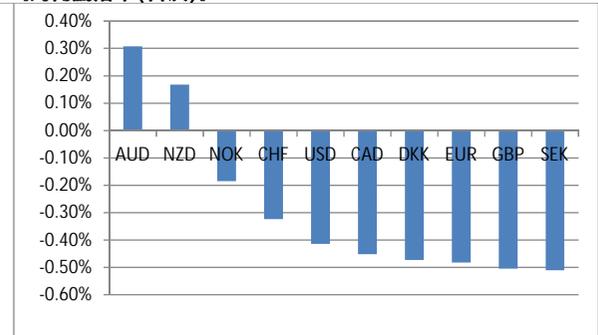
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
10月20日	08:50	日 対内・対外証券投資	10/14週分 -	-
	09:30	米 雇用者数変化/失業率	9月 15.0K/5.7%	-3.9K/5.6%
	10:00	米 米大統領選 第3回討論会	-	-
	17:30	英 小売売上高(前年比/前年比)	9月 0.2%/4.4%	-0.3%/5.9%
	20:45	欧 ECB主要政策金利/預金金利/貸出金利	10月 0.00%/-0.40%/0.25%	0.00%/-0.40%/0.25%
	21:30	米 ドラギECB総裁、会見	-	-
	21:30	米 失業保険申請件数	10/15週分 250K	246K
	21:30	米 フィラデルフィア連銀景況感指数	10月 5.0	12.8
	23:00	米 中古住宅販売件数	9月 5.35M	5.33M

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



東京	東京時間のドル円は103.88レベルでオープン。オープン後は日経平均株価の上昇に合わせてドル円も小幅上昇し、高値103.95を付けるが、注目の中国第3四半期・GDPが市場予想通りの結果となると、ドル円の反応は限定的となる。午後に入り日経平均株価が小幅上昇するも、ドル円の反応は限定的で、東京時間は幅幅30銭の小動きで推移した後、結局103.75レベルで海外市場に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、103.75レベルでオープン。日銀が次回会合での追加緩和を見送る見通しとの報道が伝わると103.25まで下落し、103.42レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.2264レベルでオープン。6月～8月の英雇用の伸びは若干鈍化したものの、ボーナスを除いた賃金が2.3%上昇したことが好感され、1.2334まで上昇。しかし、英EU離脱に関し、独政府が英外交官との交流を拒絶していることが伝わると、1.2271まで反落。結局1.2285レベルでNYに渡った。(ロンドン17:00 00531 444 179 山本)
ニューヨーク	NY時間のドル円は103.42レベルでNYオープン。朝方発表された米9月住宅着工件数が予想を下回ったことや、カナダ中銀会合で主要金利据え置きとなり、声明文が市場予想よりハト派ではなかったことから対カナドルドル売りが強まり、ドル円も一時103.17まで下落。しかし、米エネルギー情報局が公表した週間石油在庫で、原油在庫の大幅減少が明らかになったことを受けてWTIが上昇したことや、タリ平均が堅調推移したことなどから、ドル円は反発。その後公開されたページブックでは「労働市場は底堅く、見通しは概ね良好」と記載されていたこともあり、ドル円は103.52まで値を戻し103.46レベルで海外市場に渡った。一方ユーロドルは1.0975レベルでNYオープン。翌日のECB理事会結果を控え1.0960～1.0970での小幅推移となり1.0975レベルで海外市場に渡った。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 鶴田・橋

【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	103.00 - 104.00	1.0850 - 1.1050	113.00 - 114.00

【マーケットインプレッション】

昨日の海外市場でのドル円は下に往って来いの展開となった。103円台半ばで推移していたドル円は、日銀が次回会合での追加緩和を見送る見通しとの報道や、予想を下回る米9月住宅着工件数、カナダ中銀の予想比ハト派でない声明文の発表を受けたドル売りカナダドル買いの流れなどにより、安値103.16をつける。しかし、その後はサウジ閣僚の発言や原油在庫統計の結果を受けて原油価格が上昇したことや、米ページブックで底堅い米経済環境が確認されたことで、ドル円は再び103円半ばまで値を戻した。本日のドル円はECB理事会の内容に振られる展開を予想する。今回の理事会では資産購入プログラムの延長決定までは踏み込まないものの、12月理事会に向けて延長する期間やパラメーターの変更に関する方向性が示されると予想。一部にはテーバリング観測が囂っている環境下、ECBが緩和路線を継続する明確な方向性を示すこととなればユーロ/ドル下落、ドル円上昇となるだろう。しかし、そうでなければ相場への影響は限定的となりそうだ。